



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 森上 倫輔 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	101,961	△0.4	2,484	9.7	3,279	10.6	2,429	17.4
2023年3月期第1四半期	102,363	15.9	2,264	6.6	2,964	6.8	2,069	4.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,129百万円(21.4%) 2023年3月期第1四半期 2,577百万円(44.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 125.01	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	106.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	149,539	71,607	48.0
2023年3月期	146,520	70,175	48.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 71,841百万円 2023年3月期 70,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	1.1	7,500	△8.1	8,800	△14.4	6,100	△18.5	314.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	19,522,552株	2023年3月期	19,522,552株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	123,692株	2023年3月期	23,660株
------------	----------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	19,432,214株	2023年3月期1Q	19,475,245株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動の正常化に向けた動きが進展したことから経済活動に緩やかな回復の動きがみられました。先行きについては、雇用や所得環境の改善が続くものの、海外景気の下振れや節約志向の高まりによる個人消費の腰折れが懸念される状況であります。

食肉業界では、欧州のアフリカ豚熱の広がりや干ばつの影響による米国の牛飼養頭数減少、南米における鳥インフルエンザ発生など供給懸念が台頭し、食肉輸入価格が高止まりしている状況にあります。一方、消費環境はインバウンド需要の回復やペントアップ需要の顕在化で外食やホテルを中心に回復基調にはあるものの、人手不足や食肉価格の高騰で食肉の使用量を抑制する動きが続いています。また、実質所得の減少で消費者の節約志向が高まっており、食肉消費は一定の回復を見せるものの、力強さに欠ける厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当社グループは本年度より「収益構造の再構築とサステナブルな事業運営」をテーマに据えた新中期経営計画をスタートさせており、計画達成に向けた施策に取り組んでまいりました。

海外事業、特に輸出事業の積極展開として、当社は台湾向け輸出認定を3月に取得した三戸ビーフセンターにおける輸出体制を整備するとともに、米国や豪州などの輸取出引先の日本招聘、日本の食品輸出EXPOへの出展を実施しました。

また、サステナビリティ経営の実現に向けて、TCFD提言に基づく積極的な情報開示としてサプライチェーンにおける温室効果ガス排出量をスコープ1～3の区分毎に公表しました。当社では重要課題として2030年度までに温室効果ガス排出量を2020年度比46%削減する目標を掲げております。その着実な達成に向け今後も取組みを加速してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は101,961百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は2,484百万円（前年同四半期比9.7%増）、経常利益は3,279百万円（前年同四半期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,429百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

事業部門別の売上高概況は、次のとおりです。

(単位：百万円)

各事業部門の売上高	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半期	増減額	増減率
食肉関連事業	101,167	101,681	▲513	▲0.5%
食肉	80,885	80,561	+323	+0.4%
加工食品	16,927	17,702	▲774	▲4.4%
ハム・ソーセージ	2,819	2,926	▲107	▲3.7%
その他	535	490	+45	+9.2%
その他の事業	793	681	+111	+16.4%

また、部門別の業績は次のとおりです。

(食肉)

国内事業は、比較的安価な食肉の販売が堅調に推移する一方、輸入食肉価格の高止まりの影響により輸入牛肉の販売が低調に推移したことから取扱量は前年同四半期を下回りました。売上高・売上総利益は、国産豚肉の相場高騰に加え、国産牛肉や他の食肉と比べ安価な輸入豚肉の販売が堅調に推移したことから前年同四半期を上回りました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、鳥インフルエンザの影響により鶏肉の取扱量が前年同四半期を下回りましたが、その他の畜種の取扱量については前年同四半期を上回りました。売上高は国産豚肉の相場高騰などにより前年同四半期を上回りました。売上総利益は輸入牛肉の代替需要により国産牛肉の取扱量が増加したことから前年同四半期を上回りま

した。

輸入食肉は、輸入食肉価格高止まりの影響から輸入牛肉の取扱量が大きく減少し、取扱量・売上高ともに前年同四半期を下回りました。売上総利益は、需要に応じた在庫コントロールや輸入豚肉の取扱量拡大に取り組んだことから前年同四半期を上回りました。

輸出事業は、2022年のワールドステーキチャレンジにおける最優秀賞受賞を欧州の拡売につなげ、取扱量・売上高ともに前年同四半期を上回りました。

(加工食品)

加工食品は、一部取引先向けハンバーグ商品群で取扱量が減少し、取扱量・売上高は前年同四半期を下回りました。売上総利益は、スライス商品など付加価値の高い商品の販売が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、原材料価格やエネルギーコストの上昇を踏まえ、価格改定や商品の統廃合、工場オペレーション改善に努めましたが、取扱量・売上高・売上総利益ともに前年同四半期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、2,534百万円増加し、98,016百万円となりました。これは、主として前渡金が減少したものの、商品及び製品、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、486百万円増加し、51,506百万円となりました。これは、主として投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、3,019百万円増加し、149,539百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、3,250百万円増加し、52,707百万円となりました。これは、主として短期借入金、買掛金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、1,662百万円減少し、25,225百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、1,588百万円増加し、77,932百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、1,431百万円増加し、71,607百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日付け公表の「2023年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,096	13,115
受取手形及び売掛金	26,006	25,953
商品及び製品	35,940	39,692
仕掛品	299	394
原材料及び貯蔵品	2,850	2,602
前渡金	15,889	12,536
その他	3,407	3,725
貸倒引当金	△8	△1
流動資産合計	95,482	98,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,105	12,914
土地	10,646	10,268
その他（純額）	5,162	5,288
有形固定資産合計	28,914	28,471
無形固定資産		
その他	2,671	2,999
無形固定資産合計	2,671	2,999
投資その他の資産		
投資有価証券	17,850	18,442
その他	1,584	1,593
投資その他の資産合計	19,434	20,035
固定資産合計	51,020	51,506
繰延資産	17	16
資産合計	146,520	149,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,915	17,334
短期借入金	8,739	11,323
1年内返済予定の長期借入金	8,536	8,013
未払法人税等	1,738	1,198
賞与引当金	1,864	865
その他	11,662	13,970
流動負債合計	49,456	52,707
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	17,257	15,357
退職給付に係る負債	1,986	2,001
債務保証損失引当金	456	392
その他	2,186	2,473
固定負債合計	26,887	25,225
負債合計	76,344	77,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,504	12,504
利益剰余金	44,319	45,286
自己株式	△52	△288
株主資本合計	68,429	69,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,975	2,391
繰延ヘッジ損益	△86	170
為替換算調整勘定	76	98
退職給付に係る調整累計額	15	21
その他の包括利益累計額合計	1,980	2,681
非支配株主持分	△233	△234
純資産合計	70,175	71,607
負債純資産合計	146,520	149,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	102,363	101,961
売上原価	92,726	91,714
売上総利益	9,637	10,246
販売費及び一般管理費	7,372	7,762
営業利益	2,264	2,484
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	58	89
持分法による投資利益	151	347
不動産賃貸料	68	38
受取保険金及び配当金	262	156
補助金収入	273	190
その他	89	186
営業外収益合計	903	1,013
営業外費用		
支払利息	91	149
不動産賃貸費用	33	19
その他	77	49
営業外費用合計	203	218
経常利益	2,964	3,279
特別利益		
固定資産売却益	-	269
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	2	269
特別損失		
固定資産除却損	1	8
減損損失	5	-
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益	2,959	3,539
法人税、住民税及び事業税	1,109	1,232
法人税等調整額	△218	△121
法人税等合計	890	1,111
四半期純利益	2,069	2,428
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,069	2,429

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,069	2,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	407
繰延ヘッジ損益	517	256
為替換算調整勘定	68	15
退職給付に係る調整額	△16	0
持分法適用会社に対する持分相当額	21	20
その他の包括利益合計	508	700
四半期包括利益	2,577	3,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,578	3,130
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。